WELFARE INFORMATION GIFU

福祉だより ぎふ

第72回 岐阜県社会福祉大会を開催

10月31日（木）、長良川国際会議場（岐阜市）において第72回岐阜県社会福祉大会を開催。県内各地より約1,200名の福祉関係者が出席されました。式典では、永年に亘り、社会福祉の発展に功績のあった方々への表彰を行いました。

県社協会長表彰・感謝 269名・43団体、
県共同募金会会長表彰・感謝 34名・25団体が受賞

誰もが支え合いつながり続ける地域共生社会の実現に向け、きめ細かい支援に取り組むと開会挨拶をする本会森川会長

映画監督の信友直子氏を招き『「ぼけますから、よろしくお願いします。」と気軽に言い合える地域社会をめざして』と題し講演

楽しくもあり辛くもある、自身の介護の実体験と、そこから得た学びを紹介

CONTENTS

- 地域や専門職（在宅福祉部門）と育むボランティアセンター 下呂市社会福祉協議会の取り組み紹介 …… P 2
- 県健康福祉部との懇談会を開催しました ～岐阜県民生委員児童委員協議会～ …… P 4
- 岐阜県ボランティア活動振興基金助成事業 …… P 5
- 『福祉のまちづくりフォーラム2024』を開催！ …… P 5
- 主任児童委員が頑張っています～可児市土田単位民児協～ … P 6
- 「岐阜福祉の杜」 開催案内 …… P 7
- 岐阜福祉の杜オンラインおすすめ商品紹介 …… P 7
- １２月１日から歳末たすけあい運動スタート …… P 8
- 配分事業調査部会 プレゼンテーション・ヒアリング調査を実施 … P 8

2024
11
No.741

※この機関誌は、赤い羽根共同募金の配分により発行しています。

地域や専門職（在宅福祉部門）と育むボランティアセンター
下呂市社会福祉協議会の取り組み紹介

岐阜県社会福祉協議会では、多年にわたり、社会福祉の向上に寄与された皆様の表彰を行っております。今回は、令和６年10月31日に開催した第72回岐阜県社会福祉大会において優良社会福祉協議会の部門で受賞されました下呂市社会福祉協議会のボランティアセンターの取り組みについて紹介します。

下呂市社協の組織体制

下呂市社協は、総務管理課、在宅福祉課、地域福祉課の３部門で構成しています。介護保険事業を実施する在宅福祉課では、通所介護、訪問介護、訪問入浴、居宅介護支援、就労支援Ｂ型、児童館を実施しており、地域福祉課ではボランティアやサロン活動の創出・小地域福祉ネットワークによる見守り活動、生活困窮者支援などを実施しています。地域福祉活動の推進を促進する福祉活動専門員は、事業担当で分けるのではなく、平成の大合併で合併する前の萩原町、小坂町、下呂町、金山町、馬瀬村の旧町村単位でのエリア担当制とし、旧町村の地域特性を大切にした地域福祉を推進しています。

地域と育む ボランティアセンター

合併当初のボランティアセンターは、既存のボランティア団体への支援を主な役割としており、新たなニーズや課題に対する活動や取組への支援がなされにくい状況にありました。

その状況が変わるきっかけとなるのが平成29年に受託した生活支援体制整備事業です。

生活支援体制整備事業では、高齢者を支える地域づくり、高齢者が活躍できる地域づくりのため、ボランティアなどによる生活支援の創出が重要であり、支援を必要とする方と支援をしてみたい方とをつなぐ機能としてボランティアセンターの活性化を図ってきました。

そのため、活動をしたい方が登録できるボランティアセンターとして、広報誌での啓発、地域役員さんへの紹介などを行っていきました。また、生活支援に関する講座の開催等により活動者の拡充を図り、多種多様化する困りごとに対応できるよう支援者拡充を地域と共に育んできました。

専門職と育む ボランティアセンター

支援を必要とする方を把握する仕組みとしては専門職との連携強化に努めました。居宅介護支援事業を担う、ケアマネージャーは、高齢者の生活でのリアルな困りごとを一番にキャッチしやすい存在であります。

しかしながら、以前は、在宅福祉課と地域福祉課の連携がほとんどなく、在宅福祉課の課題と地域福祉課の課題が交わることがなくそれぞれの課題として扱われていました。そこで、ケアマネージャーとボランティアセンターの職員と生活圏域ごとに生活支援に特化した情報交換会を定期開催することとなります。

【情報交換会の目的】
- 生活課題の把握と解決
- ボラセンの認識強化
- コーディネーション力の強化
- 社会資源の共通認識

情報交換会では、

ケアマネ「話し相手がいなくて寂しいと言われている方がいるけど誰かいないかな？」

ボラ担当「登録いただいてるボランティアさんを紹介できますよ」

ケアマネ「主要道路から遠い地域はお弁当の配達が難しいのだけと、誰か途中から宅配してくれないかな？」

ボラ担当「登録ボランティアさん数名に声をかけて順番に支援できないか検討してみます」

など、家族や制度、サービスでは対応できない生活の困りごとをケアマネージャーが相談し、ボランティア担当が、登録ボランティアを紹介したり、その他解決になり得る社会資源を情報共有できるようになりました。

情報交換会の様子

今では・・・・

着実に情報交換会の回数を重ねることで、今では、社協外の居宅介護支援事業所にも参加いただき、困りごとが発生する都度、ボランティアセンターに連絡が入るようになりました。時には難しい案件だとしても、ただ、「できない」と断るのではなく、他の支援策を共に検討し紹介することで、とりあえずボランティアセンターへ聞いてみようという流れができるようになっています。

ケアマネージャーからも、ケアプラン作成時に、「インフォーマルな資源も意識するようになった。」「まずは、ボンランティアセンターに相談しようと思う。」

ボランティアセンターの歩み

これまでのボランティアセンター

・既存団体の支援がメイン
　→助成金交付、
　　交流会の開催
　　活動に対する相談支援
・活動のニーズの把握ができていない。
・登録団体のほとんどが環境整備や子育てや障がい者支援、配食など活動が固定化しており、新たなニーズや課題には対応しづらかった。

【住民や専門職の意識・認識】
・災害支援を行うセンター？
・生活支援など困った時に相談する風潮はほとんどなし
・地域貢献したいがどこに相談したらいいのか。

H29

現在のボランティアセンター

・既存の団体の支援
・様々な地域課題やボランティアニーズに対するマッチングを実施
・マッチング表を基に活動状況の見える化や検証を実施
　いつ、だれから、どんなニーズ→だれにどうつないだ
・生活課題に沿って新たなボランティア活動を創出

【住民や専門職の意識・認識】
・ケアマネなどから常時「生活支援」などに対する相談が来る
・ボランティア活動したい声が届くように！

「一緒に社会資源を作っている気がする。」「社協らしい。」との声が上がっています。

在宅福祉課と地域福祉課が連携することで、お互いの部門で良い効果がでており、大きな相乗効果となっています。

これから・・・

令和5年に開催した東海北陸ブロック市町村社協職員研究集会において実施した「社協が運営する在宅福祉サービスに関するアンケート」の結果によると在宅福祉サービス部門と地域福祉部門との連携はおよそ8割が図れているとの回答がありました。一方で、在宅福祉サービスを通じて見えてきた地域福祉課題に対し、地域福祉部門と協働した取り組みがあるかまた、情報交換などを行っているかという問いに対しては、およそ6割が取り組めていないとの回答がありました。今後、必要となる在宅サービスについては、ゴミ出しなどの生活支援サービスではないかとの回答が多くあり、県社協としても、各市町村社協の在宅サービス部門と地域福祉部門の具体的な連携事例などを紹介し、地域共生の実現に向けた取り組みを支援して参りたいと思います。

県健康福祉部との懇談会を開催しました

～岐阜県民生委員児童委員協議会～

去る令和６年９月４日(水)、岐阜県庁（岐阜市）にて令和６年度岐阜県健康福祉部・岐阜県民生委員児童委員協議会（以下、県民児協）との懇談会を開催しました。

県健康福祉部丹藤部長をはじめ、子ども・女性局長、他各課より７名に出席いただき、県民児協からは、澤井会長をはじめ、副会長４名及び常任理事11名が出席しました。

開会挨拶をする澤井会長

令和７年度予算要望に対し、県からは、予算確保に努め、引き続きＰＲ活動を進めることや、市町村に対しても活動の円滑な実施に向けて協力いただくよう伝えていく旨、回答をいただきました。

意見交換では、県民児協より児童委員活動について４つの事例を発表しました。

事例発表をする見吉常任理事

県からは、関係機関へのつなぎの重要性、家事支援や育児支援などのサービスについて助言いただきました。

また今後も引き続き地域の見守りをお願いしたい旨意見をいただきました。

最後に県民児協の田口副会長より閉会挨拶として、これからの民生委員の活動において更なる理解と支援をお願いし、懇談会を終了しました。

令和７年12月1日に一斉改選が行われます。
民生委員・児童委員活動の理解促進のための広報について一部紹介します。

岐阜県版ミンジー

以下は全国民生委員児童委員連合会のＨＰより
ダウンロードが可能です
ぜひ研修会や街頭でのＰＲ活動にご活用ください

地域住民への民生委員・児童委員のPRに向け、民生委員・児童委員の役割を紹介する動画

- 「あなたのまちにも編」（long ver.）
- 「あなたのまちにも編～民生委員・児童委員～」（70秒）
- 「あなたのまちにも編～主任児童委員～」（70秒）

PRポスター

- 「ご存じですか？民生委員・児童委員」
- 「このまちが好きだから」

パンフレット

- 「探してください！地域の身近な相談相手」

岐阜県ボランティア活動振興基金助成事業

＜令和７年度申請団体募集のお知らせ＞

募集期間
令和6年11月1日
～
令和6年12月13日

岐阜県におけるボランティア・市民活動のさらなる発展を支援することを目的に、標記助成事業を実施しております。皆様からのご応募お待ちしております。

1. 助成対象者［一般事業・特別事業共通］

(1) 岐阜県内で活動する団体又は法人
(2) 法人格のない団体は会則、規約を有し５名以上で構成された組織
＊一般事業で申請する場合、法人格のない団体は設立後1年以上経過していることが要件となります。

2. 助成対象事業

一般事業	**地域の課題解決に向け、必要に応じて様々な団体と連携しながら、新たに取り組む事業** ①高齢者福祉に関する事業/②障がい者福祉に関する事業/③児童福祉に関する事業/④子育て支援に関する事業 ⑤若者の社会的自立支援に関する事業/⑥生活困窮者等の自立支援に関する事業/⑦災害ボランティア活動に関する事業 ※既存事業の継続や拡充（実施回数の増加等）は助成対象外です。
特別事業	**地域共生社会の実現に向けて、今日的な福祉課題の解決に取り組む次の事業** **①子どもの貧困対策事業**［生活困窮世帯、ひとり親家庭の子どもや保護者を対象に子ども食堂や学習支援を行う活動］ **②高齢者・障がい者等に対する生活支援サービス事業**［家事援助、食事、買い物、送迎等の制度外サービスの活動］ **③社会的に孤立しがちな人々の居場所づくり整備事業**［認知症、精神障がい、引きこもり、発達障がい等に対するたまり場づくり、社会参加、就労支援の活動］

＊国、地方公共団体又は民間団体が実施する補助制度を活用している事業等は助成対象外です。

3. 助成期間

(1) 一般事業：単年度助成（助成年度以降３年間は助成対象としません）
(2) 特別事業：助成決定年度から３年間継続して申請することができます。

4. 助成限度額

(1) 一般事業：助成対象経費の１０分の９以内とし３０万円を限度とします。
(2) 特別事業：助成対象経費の１０分の９以内とし３０万円を限度とします。
ただし、３年間継続して申請する場合、初年度は５０万円を限度とします。

5. 助成対象経費［一般事業・特別事業共通］

(1) 助成対象事業を実施するために必要な次の経費を助成します。
謝金、旅費交通費、消耗品費、会議費、印刷製本費、通信運搬費、使用料及び賃借料、備品購入費
(2) 設立１年から３年以下の団体は運営費も対象とします。
※但し、詳細の助成事業実施要領につきましては、本会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

問い合わせ先　岐阜県社会福祉協議会　総務企画部　地域福祉・ボランティア担当〔電話058-274-2940〕

『福祉のまちづくりフォーラム2024』を開催！

ここで生きる、ここで暮らす～地域共生社会の実現に向けて～

10月16日に長良川国際会議場にて、『福祉のまちづくりフォーラム2024』を開催しました。

今年度は、金城大学　人間社会科学部　教授　内慶瑞先生を講師にお迎えし、県内で活動されている、各務原市の八木山地区社会福祉協議会　事務局の清水様、NPO法人飛騨高山わらべうたの会　理事長の岩塚様に実践レポートをいただきました。

清水様からは、このほど10周年を迎える「ささえあいの家」を拠点とする八木山地区の支え合い活動について、お話を伺いました。「できる人が、できる時に、できることを」というモットーのもと活動されており、活動を通して人と人とのつながりの大切さを、実際に活動に参加しているメンバーの方々からの温かいエピソードを交えてお聞きすることができました。

岩塚様からは、飛騨地方で暮らすお母さんや子ども達の笑顔を増やしていくために、飛騨地域で高校を卒業した子どもたちの約8割が地域外へ出ていってしまう問題や、広い高山市に点在し孤立しがちな子育て家庭を支援するため、ファミリーサポートや多世代交流サロンなど行政・学校・企業・地域・NPOと連携した様々な活動をお聞きすることができました。

最後に内先生から、「福祉とは　近きにありて　行うもの」と題してご講演をいただきました。変わりゆく地域と暮らしの中で「支え手」と「受け手」という関係ではなく、一人ひとりが地域活動に参加し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創り住民がつながり生きていける社会の実現に向けて、貴重な講演をいただきました。

コロナ禍の影響もあり2020年よりオンライン開催が続いており、参集形式では5年振りの開催となりましたが、県内から約200名の方にご参加をいただき、盛会裏に終了することができました。

金城大学
人間社会科学部社会福祉科
教授　内　慶瑞 氏

八木山地区社会福祉協議会
事務局　清水　孝子 氏

NPO法人飛騨高山わらべうたの会
理事長　岩塚　久案子 氏

主任児童委員が頑張っています

～可児市土田（どた）単位民児協～

可児市は岐阜県の中南部に位置し、愛知県犬山市に隣接、坂祝町、美濃加茂市、御嵩町、土岐市、多治見市に囲まれています。「住みごこち一番可児」を目標に掲げています。

土田地区は、可児市の北西部にあります。昔、東山道が通っていた歴史ある地域です。最近は、外国籍の市民が増加し、土田小学校では全児童の３割を超えています。

土田民生児童委員協議会は、地域担当が11名、主任児童委員が２名の13名で構成されたこじんまりとした単位民児協です。３期目の委員が１名、２期目６名、１期目６名からなっています。

土田民児協は、互いに助け合い励まし合って活動を進めてきました。３期前には欠員が３名もありました。その経験から、誰もが活動できる民生委員・児童委員を目指しています。交流会や親睦会などを重視し、互いを理解し、仲間として意識できるよう努めてきました。

２年前までは、コロナ禍の中で活動も制約され、互いに理解を深めることが困難な状況が続きました。昨年、コロナによる制約が無くなり、今年、４年ぶりに親睦会を開催し、いろいろな話ができ、とても有意義な時間を過ごしました。今後も委員の活動が負担にならないように、皆で考えていこうと話しています。

子育てサロン鳩ぽっぽ

２名の主任児童委員がとても頑張っていますので紹介します。

一つは、未就園児の親子のための「子育てサロン鳩ぽっぽ」を毎月第１火曜日（４・５・１月は第２火曜日）に、午前10時から11時30分、土田地区センターにて開催しています。

主任児童委員が計画を立て、民生委員・児童委員が協力します。玩具やボールプールで遊び、誕生日会やその季節に合った行事を行っています。その行事のための小物の準備や手配なども行っています。

コロナ禍の中で長らく休止していましたが、昨年４月より再開することができました。最初は参加者がいるのか心配でしたが、徐々に以前の鳩ぽっぽに戻り、少しずつ参加親子が増えています。12月にはクリスマス会を行い多くの親子に喜んでもらえたと思います。トナカイ役は主任児童委員が行いましたが、とても好評でした。

バルーンアートって面白い!（鳩ぽっぽ）

七夕飾りを作っています。（鳩ぽっぽ）

次に、小学校の毎月の訪問、中学校の定期的な訪問です。校長先生や生徒指導主事の先生との情報交換の場であり、必要なことは地区担当の委員に報告します。

そして、「にほんごサポートネットワークＤＯＴＡ」のボランティアとして子どもたちの頑張りを認め、励ましています。最初にも触れましたが、土田小学校は外国籍児童の割合がとても多いことから、日本語での学習の理解が困難な子どもたちのために国際教室があります。対象人数が多く、なかなか目が届かない現状の中で活動のお手伝いをしています。

もちろん、民生委員・児童委員も頑張っています。毎月の見守り訪問活動を中心に、社会福祉協議会との連携でサロン活動や身体障害者福祉協会との交流会、地区センター祭り、子どものための「どたどた広場夏祭り」など地域の行事に参加しています。

水風船つれたかな?（どたどた広場夏祭り）

～障がい者就労支援事業所 商品展示販売会～
「岐阜福祉の杜」 開催案内

第7回障がい者就労支援事業所の商品の販売会「岐阜福祉の杜」を開催します。

岐阜県内の事業所で作られるクッキー、ケーキなどの食品やさをり織り、布製品の小物類などを取り揃えております。開催場所ごとに出店事業所が入れ替わりますので、様々な商品をご覧いただきたいです。

ぜひ皆様のお越しをお待ちしております！

第7回

日時　令和6年
11月25日(月)～11月29日(金)
10：00～17：00（最終日は16：30まで）

会場
イオンモール各務原
1階センターコート

今年度　イオンモール各務原の様子

また、前回お伝えしましたとおり、全国ナイスハートバザール2024inぎふを開催します。

日々様々な魅力ある商品が集まります。ぜひお越しください！

全国ナイスハートバザール2024 in ぎふ

日時　令和6年**11月21日(木)～11月25日(月)**
10：00～18：00（最終日は17：00まで）
会場　**カラフルタウン岐阜　1階カラフルパーク**

お問い合わせ先　**岐阜県社会福祉協議会 施設人材部・セルプ支援センター**　〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1　TEL 058-201-1561

岐阜 もり 福祉の杜 オンライン

おすすめ商品紹介

お家で楽しむモチモチ焼きたてだんご！

岐阜県郡上市産コシヒカリ100％のおだんごを急速冷凍・真空パックしたみたらしだんご。お家で出来たてをお楽しみいただける商品です。付属の秘伝のタレと地元産のきな粉をかけてお召し上がりください。だんごのおいしい焼き方レシピ付です。バーベキューに大人気！

冷凍東弥だんご（20本セット）
販売価格　3,700円（税込・送料込）
内容量:だんご10本（タレ・きな粉付き）/パック
数　量:2パック ※クール便での発送になります。

事業所紹介

社会福祉法人 ぶなの木福祉会
郡上市大和町大間見233-1
TEL 0575-88-0088　FAX 0575-88-0092

楽しく、元気に、生きいきと暮らし続ける！

仲間と共にひたすら前へ前へと歩んできた30年間。時代は大きく変わり、障がいがある人たちが地域で普通に生きることが当たり前になってきたいま、次の目標は“福祉でごちゃまぜのまちづくり”。

まずはしっかり「働いて」経済的にも自立・自律して楽しく元気に生きいきと暮らし、時には支えられ、時には支える側へ回る。

障がい者も高齢者も地域に住むすべての人たちが支え合い、力を出し合って地域の課題に取り組み、生きいきとしたくらしを創りだせば、住みやすい街になるのです。ぶなの木の仲間たちと共に大きな目標に向って、一歩ずつ前へ！

岐阜福祉の杜オンラインショップ

URL入力の場合は
https://gifu-fukushinomori.com

「福祉の杜オンライン」内に外注委託業務紹介ページを開設しました！！

https://gifu-fukushinomori.com/bpo/list

お仕事の依頼はこちらから

12月1日から　歳末たすけあい運動スタート

１２月１日から共同募金運動の一環として、歳末たすけあい運動が始まります。今年も歳末たすけあい運動に、皆さまのご協力をお願いいたします。

１．主　　旨

「歳末たすけあい運動」は、共同募金の一環として地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を重点的に展開します。

２．ス　ロ　ー　ガ　ン　「つながり ささえあう みんなの地域づくり」

３．歳末たすけあい募金目標額　７０,１６１,０００円

(1) 地域歳末たすけあい募金　　５５,１９７,０００円
(2) ＮＨＫ歳末たすけあい募金　１４,９６４,０００円

４．募　金　期　間

令和６年１２月１日～令和６年１２月３１日

５．運　動　実　施　主　体

(1) 地域歳末たすけあい運動

各市町村においては、社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会、支会・分会・共同募金委員会などを中心に、地域の実情に応じて必要な組織を加え、本運動を推進します。

(2) NHK歳末たすけあい募金　　岐阜県共同募金会、ＮＨＫ岐阜放送局

配分事業調査部会 プレゼンテーション・ヒアリング調査を実施

本会では、県民の皆様からの寄付金を、より公正かつ効果的に活用するため、社会福祉法第１１５条の規定に基づく配分委員会に配分事業調査部会を設置しています。

１０月１７日に配分事業調査部会を開催し、申請のあった施設設備等の整備事業の内の６施設から具体的な事業の内容・必要性・効果等について説明をいただき、質疑応答形式で調査するプレゼンテーション・ヒアリング調査を実施しました。

＜調査施設＞　①軽費老人ホーム・ケアハウス寿和苑（関市）：照明機器ＬＥＤ化工事
②障害福祉サービス事業所・あじさいの家（岐阜市）：施設環境整備に係るエアコン更新事業
③障害福祉サービス事業所・あしたの会作業所（岐阜市）：授産製品運搬及び利用者送迎用車両の購入
④障害者支援施設・陶技学園みずなみ荘（瑞浪市）：女子棟トイレ改修工事
⑤障害福祉サービス事業所・どんぐり工房（瑞浪市）：多機能型ユニットハウス設置事業
⑥障害福祉サービス事業所・第二むくのき（美濃加茂市）：階段昇降機整備事業

また、配分事業調査部会では、11月に申請額が１００万円以上の施設設備等の整備事業を対象として現地調査を行います。現地調査では申請事業の現状及び申請者の福祉活動の状況等について実地に調査し、その必要性・効果等の判定をいたします。各種調査の結果については、配分委員会に報告し、同委員会において慎重な審議を重ねて、社会福祉法第１１７条の規定に基づき配分の承認を行うことにしています。

〈岐阜県共同募金会　☎（058）201-1591〉

＊本誌に対してのご意見、ご要望等ございましたら、下記までお寄せください。
発行所　社会福祉法人　岐阜県社会福祉協議会　〒500−8385　岐阜県岐阜市下奈良２－２－１
TEL(058)201-1545　FAX(058)275-4858　ホームページアドレス　https://www.winc.or.jp/　購読料30円は会費に含む　毎月1回・15日発行